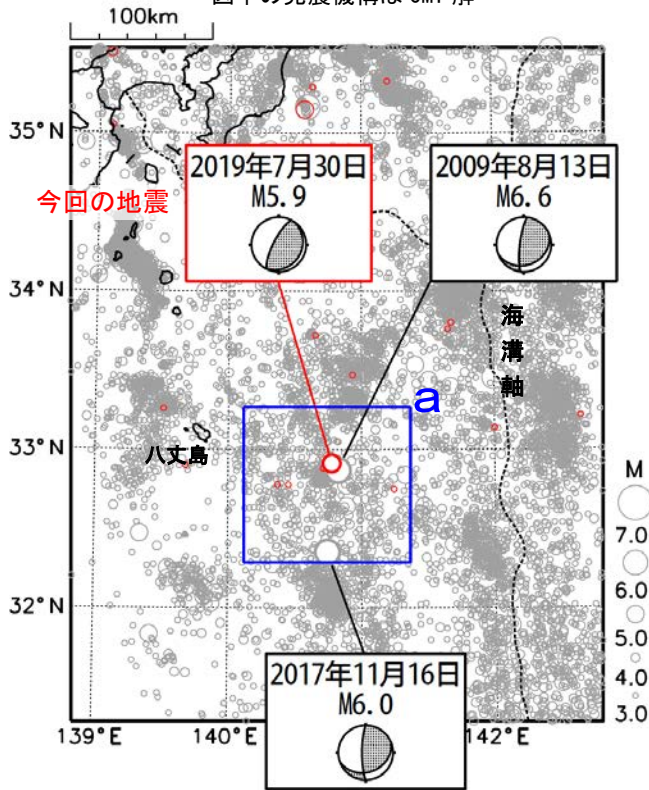


7 月 30 日 八丈島東方沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 0～250km、 $M \geq 3.0$)
2019 年 7 月の地震を赤く表示
図中の発震機構は CMT 解

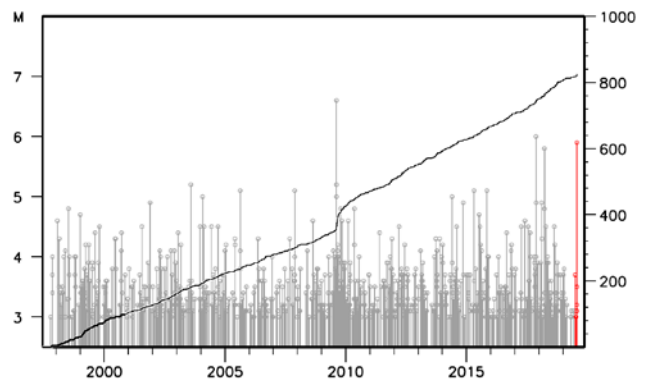


2019 年 7 月 30 日 05 時 37 分に八丈島東方沖で M5.9 の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 a）では、2009 年 8 月 13 日に M6.6 の地震（最大震度 5 弱）が発生している。この地震の発生後、M5.0 以上の地震が同日中に 2 回発生するなど、地震活動が一時的に活発化した。また、2017 年 11 月 16 日には M6.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

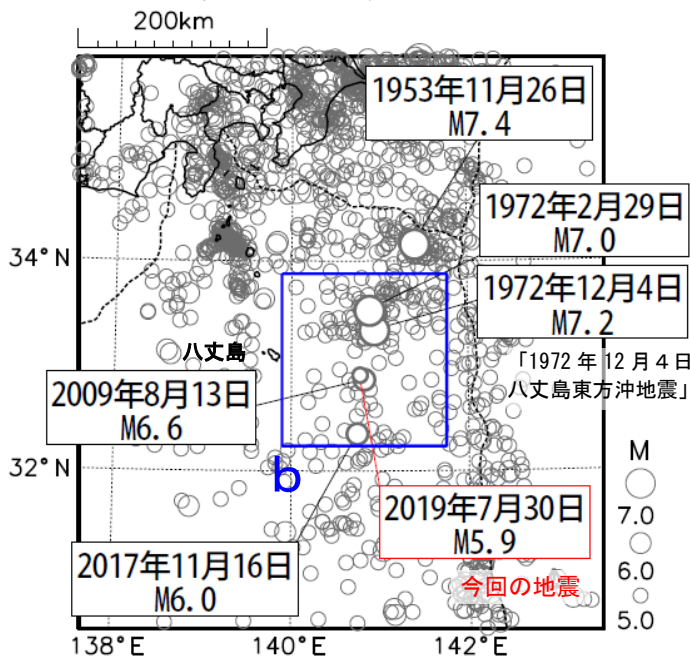
1922 年以降の活動をみると、今回の震央付近（領域 b）では、1972 年 2 月 29 日に M7.0 の地震（最大震度 5）が発生し、千葉県館山市布良で最大 23cm の高さの津波が観測された。また、1972 年 12 月 4 日に M7.2 の地震（最大震度 6、「1972 年 12 月 4 日八丈島東方沖地震」）が発生し、和歌山県串本町袋港で最大 35cm の高さの津波が観測された（いずれの地震も津波の高さは、験震時報（第 38 巻）による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図

(1922 年 1 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 0～250km、 $M \geq 5.0$)



領域 b 内の M-T 図

